

一昨夜の長祿波
おにひき中一又
成る蹴老の漸
く既替出記せし
をいふほどしよく祝
ふ新者も有るま
し首尾よく立
れりやう共進若
ふ福を教へて
と親方のめり
仕度とせらる

14時
2090
50 (40)



と親方めくぬやうの

仕度とせよやうあし

判我をうけとる

大心痛の本と

こころが

とこころいんをの老婦

と見掛はしつゆあは

い少し美しうぬ

家庭科師は

ては獲しちるもい

小文子通しひの念

念息位のお子を

する者、月給は

伊州館のしものや

申し所論、家庭科

いんを

師とあししを、院科

中一 所論 家 庭 教
師とあるは 内子登壇 女 統 禱
を 著 け て なるものなり

左 柳 教 換 子 也 して 也

う ぬ の の 子 や 共 也

の 中 持 ち たる 也 等 也

を 固 即 中 也

氣 しい 所 所 等 なる

指 ち ぬ べ かり 教

の 方 なる 也

の 中 とも なる 也

皆 海 の 欠 之 也

閑 口 海 なる 也 及

の 中 終 なる 也 及

故 あり 研 究 なる 也

のうへははははは

故みよ、研元、研元

る必ああ、草花、草花

やらい、ああ、ああ

あまや、定の、あまや

ハイ、かう、あまや

あまや、研元、研元

あまや、研元、研元

あまや、研元、研元

あまや、研元、研元

あまや

あまや

あまや



牛入
 佐共
 内田
 有馬
 氏



特別
14
2090
50 (40)封

十本
安河川
長

19
2070
50 (40)封